

## 県立美術館の進捗状況について

令和6年12月20日  
地域社会振興部美術館

## 1 美術作品の購入

来年3月の開館を目前とする県立美術館のコレクションを充実させるため、収集方針に基づき美術作品の購入を進めています。(合計74点、購入予算案273,235千円を11月議会に上程中)

(1)近世絵画 (7点)	○土方稲嶺 (1741～1807) 作品名：乳呑虎図 (江戸中期) ○円山応挙 (1733～1795) 作品名：楚蓮香図 (江戸中期) ○谷文晁 (1763～1840) 作品名：金碧青緑山水図 (1806年) ○酒井抱一 (1761～1829) 作品名：猛虎図 (江戸後期) 他1点 ○池大雅 (1723～1776) 作品名：溪亭観漁図 (江戸中期) ○伊藤若冲 (1716～1800) 作品名：乗興舟 (江戸中期)
(2)近代日本画 (47点)	○小早川秋聲 (1885～1974) 作品名：出陣の前 (1944年) 他46点
(3)現代洋画 (1点)	○山下清 (1922～1971) 作品名：鳥取砂丘
(4)工芸 (7点)	○芹沢けい介 (1895～1984) 作品名：那覇大市 (1948年頃) 他6点
(5)現代美術 (12点)	○堂本尚郎 (1928～2013) 作品名：絵画1961-11 (1961年) ○宇佐美圭司 (1940～2012) 作品名：二都物語 (1986年) ○森村泰昌 (1951～) 作品名：セルフポートレイト/赤いマリリン(1996年) ○やなぎみわ (1967～) 作品名：Windswept Women 1 (2009年) 他2点 ○白川昌生 (1948～) 作品名：無人駅での行為(群馬と食) (2000年) ○西野達 (1960～) 作品名：The Merlion Hotel (2011年) 他2点 ○竹川宜彰 (1977～) 作品名：セミの羽化と私 3250年 #2 (2008年) ○Rirkrit Tiravanija (1961～) 作品名：Untitled 2024 (2024年)

## 2 屋外設置作品の概要

(1) 建物の外でも美術と触れあうことができる親しみやすい空間を創出するため、敷地内に国内外の優れた作家による屋外作品を設置することとしています。

設置場所	作家
①エントリープラザ (1点)	青木野枝 (あおき・のえ 1958年～) による作品
②彫刻の庭 (1点)	李禹煥 (リ・ウーフアン 1936年～) による作品
③創作の森 (3点)	SUPERFLEX (1993年結成のアーティスト集団。デンマーク拠点) による作品 鈴木昭男 (すずき・あきお 1941年～) による作品 リクリット・ティラヴァニ (1961年～) による作品
④3階テラス付近 (2点)	中ハシクシゲ (なかはし・かつしげ 鳥取県出身 1955年～) による作品2点

(2) 第一弾として、7月11日に青木野枝氏による作品を設置し、設置作業の公開と作家による案内を行いました。

## 作品名：「しきだい」

美術館の正面、エントリープラザのインターロッキング上に、コールテン鋼製の円形の鋼材を溶接して組み上げた3つの逆円錐形状のモニュメンタルな鉄製彫刻が立ち上がる。高さは約3.9メートル。製鉄や鍛冶とも関連の深い鳥取県中部の産業文化の歴史も踏まえ、美術館と地域との境界となる場所に、それらをつなぐ鉄の彫刻を制作設置する。



## 3 開館初年度企画展の概要

現在、借用作品の交渉中で、出品作品の詳細等は順次公表予定です。

企画展名	会期
(1)アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術 ～若沖からウォーホル、リヒターへ～	令和7年3月30日(日) ～6月15日(日)
(2)水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～	令和7年7月19日(土) ～8月31日(日)
(3)めでたし うるわし ときにいさまし！？ The 花鳥画 - 日本美術といきものたち -	令和7年10月11日(土) ～11月24日(月・祝)
(4)CONNEXIONS   コネクションズ - 接続するアーティストたち	令和8年2月7日(土) ～3月22日(日)
(5)江戸絵画から《プリロの箱》まで - 鳥取県があつめた美術コレクションのバリエーション！(仮称)	令和8年2月28日(土) ～3月22日(日) ※県立博物館にて

#### 4 開館後の貸館利用予約

県民ギャラリー(約 500 m<sup>2</sup>、分割利用可)をはじめ、ワークショップができるスタジオ(水道設備有り)やホール、3階まで吹抜けのひろま、半屋外のえんがわなどの利用予約の受付を行っています。

・令和7年度上半期分(令和7年3月30～9月30日)	令和6年 5月21日～受付中
・令和7年度下半期分(令和7年10月1日～令和8年3月31日)	令和6年10月22日～受付中

※県民ギャラリーの利用予定(10月末現在)

催し数28件、開館日数における利用日数 上半期分:約97%、下半期分:約61%

#### 5 開館前利活用の状況

今年5月から、館内外を活用した取組を募集し、利用可能なアイデアは実施していただいています。

《主な活用事例》 ※このほか、美術館主催で毎月15日に県民向け建物内覧会を実施中

- ・鳥取中部観光推進機構主催の納涼祭(7月)
- ・小学校親子会での創作活動(7月) ・保育園親子会での工作ワークショップ(12月)
- ・中学校区金管バンドの演奏会(8月) ・ゴスペルグループによるミニコンサート(12月)
- ・フォトウェディング(8月、9月ほか) ・七五三などの写真撮影会(10月)
- ・成人式前撮り撮影(11月)
- ・倉吉観光MICE協会によるコスプレ撮影会(10月)、モデル撮影会(10月)
- ・中部ふるさと広域連合主催の婚活イベント(10月)
- ・全国糖尿病週間ブルーライトアップ(11月) など



#### 6 開館に向けた主なイベント等

##### (1) 鳥取県立美術館ボランティア「TMOA+(ティーモア・プラス)」研修

ワークショップの企画・運営、イベントの運営サポート、対話鑑賞ファシリテーター、建築ツアーガイドなどの活動を行うボランティアの研修・交流会を開催します。(ボランティア登録者 299名(10月末現在))

11月13日(水)・17日(日)・23日(土)、12月7日(土・祝)	共通研修
12月8日(日)	個別研修(建築ツアーガイド)
令和7年1月中旬～2月上旬予定	交流会

##### (2) 開館直前カウントダウンイベント

開館直前の1月と2月に、主に東部・西部の県民のみなさんにアートを楽しんでいただくコンサート&ワークショップを開催し、開館の周知と機運醸成を図ります。お招きする芸術ユニット「明和電機」は、青い作業服を着用し、作品を「製品」、ライブを「製品デモンストレーション」と呼ぶなど、日本の高度成長を支えた中小企業のスタイルで活動されています。

令和7年1月13日(月・祝)	イオンモール日吉津
令和7年2月15日(土)、16日(日)	イオンモール鳥取北 ※2月15日は明和電機の出演なし

##### (3) 開館記念式典等

令和7年3月30日の開館にあたり、3月28日及び29日に記念式典や内覧会、イベント等を行います。

3月28日(金)	開館記念式典、関係者内覧会、記念シンポジウム(建築編)
3月29日(土)	関係者内覧会、記念シンポジウム(アーティスト編) パレードオンパレード(白壁土蔵群から、伝統芸能や音楽団体による祝賀パレード) ミュージックセレブレーション(えんがわやテラスをステージにした野外音楽祭) 鳥取アート&クラフトマーケット(伝統工芸品、若手アーティスト活動、キッチンカー等)
3月30日(日)	開館(開館記念展「アート・オブ・ザ・リアル」開幕、まんが王国とっとり関連展示 等)

#### 7 アート・ラーニング・ラボ(A. L. L.)の主な取組について

##### (1) MUSEUM START BUS(ミュージアム・スタート・バス)の全県展開

開館後の小学4年生全員の招待に向けて、県立博物館の美術企画展「アートって、なに?」(会期:6月29日～8月25日)で試行事業を実施しました。(10校310名)

また、学校現場向けにミュージアム・スタート・バス紹介動画を作成し、教職員専用ウェブサイト「とっとり『学びの部屋』」にアップしています。



##### (2) 対話鑑賞ファシリテーター養成

鑑賞者から感じたことや考えたことを引き出し、交流させる技術を備えた対話鑑賞ファシリテーターを養成するため、年間を通じた複数回の研修会を開催しました。(登録者は現在約90名。)